

## 昭和62年度日本気象学会春季大会の告示

1. 期 日 5月26日(火)～5月28日(木)
2. 会 場 筑波大学大会会館  
〒305 茨城県新治郡桜村天王台1-1-1  
TEL. 0298-53-2034, 2035
3. 研究発表
  - 1) 発表方法：口頭発表およびポスター・セッションの2つの形式で行う。その選択は講演者の希望による。
  - 2) 口頭発表：講演時間は討論を含め12分程度
  - 3) ポスター・セッション：大会第1日の午後3時頃より、2分間概要紹介した後、30分間ポスターの前で説明を行う。詳細はポスター・セッションの方法を参照して下さい。
- 4) 予稿集原稿：ポスター・セッションの講演者も口頭発表と同じ形式の原稿を提出すること
4. 講演申込み
  - 1) 講演申込み・予稿原稿の締切：3月10日(火) 必着厳守のこと
  - 2) 申込先：東京都千代田区大手町1-3-4  
気象庁数値予報課内講演企画委員会(岩崎俊樹)
  - 3) 様式：本号挿入の申込用紙に記入、予稿原稿を添えて申し込むこと。原稿用紙は本誌挿入のものを使用すること。詳細は次頁の講演予稿集原稿の書き方をご覧下さい。
5. シンポジウム  
テーマは未定

### ポスター・セッションの方法

1. 大会第1日の午後3時頃より概要紹介を行い、引き続きポスターの前で説明を行う。
2. ポスター・セッションはおよそ1時間でこの間は口頭発表は休憩とする。
3. 概要紹介は直前の口頭発表のセッション(3会場のいずれか一つを講演企画委員会で指定する)で講演者自身が行う。時間は2分間でOHPまたはスライドを1枚だけ用いることができる。
4. 講演者は概要紹介のあと、少なくとも30分間ポスターの前で説明を行う。
5. ポスターは事務局の指定した場所に当日の午前9時より午後5時まで掲示する。また、掲示板に余裕があれば大会期間3日間を通じて掲示することもできる。
6. ポスターの掲示および撤去は講演者自身が行う。なお掲示に必要な画鋏およびテープは事務局で用意する。
7. 掲示板は90cm(縦)×180cm(横)である。ただし、ポスターは大きな紙一枚に書く必要はない。例えば、B4サイズの紙に分けて描き、当日掲示板に並べてもよい。
8. 文字や図は2～3m離れても、はっきり分かるように書く。カラーを使うのもよい。講演者の創意工夫で魅力ある表現を心掛け聴衆の関心を引きつけるようにする。